

啓発教材自己チェックリスト



会社名:	
教材名:	
実施日:	

自己チェックの目的

1. ICTに関する啓発活動を実施する際に作成した教材について考慮すべきポイントを「チェックリスト」としてまとめ、作成主体自らが自己点検(セルフチェック)を行い、教材の改善を図っていくことで、一般的な啓発教材の質の向上を目指します。
2. 本チェックリストを多数の方に利用いただくことで、ネットの安心・安全な利用に対しての一助となる事を目指します。その為に、今後も適宜内容を見直し、改訂を行って参ります。

本チェックリスト利用上の注意点

本チェックリストは、教材作成を行う上で作成者自らが最低限考慮すべきポイントが盛り込まれているかを確認する事ができるようにチェックリスト形式でまとめたものです。啓発活動を行うための運営体制までは深く言及しておりません。また、点数による比較・評価を目的としたものではありません。教材を作成したり、改善されたりする際の目安として、ご活用いただければと考えております。

分野	項目	チェック内容	チェック欄
1. 啓発の対象者	(1)	対象者の年齢、立場(児童・生徒・学生、保護者、教育関係者など)に適した内容となっているか。	<input type="checkbox"/>
	(2)	対象者に対して、適した表現が使われているか。	<input type="checkbox"/>
	(3)	情報モラル、情報セキュリティ、情報リテラシーなどの幅広い内容の中で、何を伝えたいかが明確であり、それが対象者に伝わるものとなっているか。	<input type="checkbox"/>
2. ネット利用上のリスク	(4)	取り上げるネット利用のリスク(例えば「ILASの7分類」など)を意識して作成されているか。	<input type="checkbox"/>
	(5)	取り上げるリスクに関して、適切かつ具体的な解決策を導き出せる内容になっているか。	<input type="checkbox"/>
	(6)	具体的実例を示すなど、対象者がイメージしやすい(当事者意識を持てる)内容となっているか。	<input type="checkbox"/>
3. 情報の正確性	(7)	最新の情報が反映されているか。(陳腐化した内容となっていないか。)	<input type="checkbox"/>
	(8)	提供する情報の真正性が維持されているか。	<input type="checkbox"/>
	(9)	提供する情報の出典元が明らかになっているか。	<input type="checkbox"/>
	(10)	提供する情報が特定の事業者・団体やサービスについての宣伝や中傷になっていないか。	<input type="checkbox"/>
	(11)	ネットの利活用を妨げる内容となっていないか。	<input type="checkbox"/>
計	1. 啓発の対象者 (3項目中)		0
	2. ネット利用上のリスク (3項目中)		0
	3. 情報の正確性 (5項目中)		0
	合計 (11項目中)		0

※チェックが付かなかった項目については啓発教材の見直し・改善が必要と考えられます。本チェックリストのマニュアル等も参考にしてください。